

2026 年リリースの新商品!!

■ 魔女は“信じられた存在”だった——イングランド社会の深層に迫る一次資料集

イングランドにおける魔術と魔法 1400～1920 年 Witchcraft and Magic in England, c. 1400–1920

悪魔・呪術・裁判記録——近世社会の“闇”を可視化する



魔術の実践は何世紀にもわたる歴史を持ちますが、現代においても私たちは魔法の可能性に魅了され続けています。魔女は多様な時代と形態において存在し、文化的に重要で多面的な存在として、法的・宗教的・政治的・社会的な厳しい監視の対象となってきました。本コレクションは 57,000 点を超える画像を収録し、5 世紀にわたるイングランドの魔術と魔法の変遷をたどる独自の資料群です。英国国立公文書館や大英図書館などの所蔵資料を基に構成されており、信仰、ジェンダー、医療、政治、宗教、科学といった多様な主題を横断的に探究します。

本コレクションはまず、中世後期の思想や文学における「魔女」概念に焦点を当てます。この時代には、占星術、儀礼魔術、迷信、宗教、健康や治療に関する理論といった長く続く諸信念が互いに競合しつつも、概して共存していました。続いて 1450 年以降の時代を扱い、魔術に対する態度の変化が法制度や世俗社会に影響を及ぼし、魔女と見なされた人々への告発や迫害が増加した過程を検討します。この傾向は、宗教的動乱、政治的変動、地域社会における緊張と結びついており、印刷文化の発展によって論争や恐怖、敵意が煽られていきました。特に本コレクションには、近世初期の魔女裁判に関する巡回裁判記録（アサイズ記録）や、被告（主に女性）を逸脱した社会的存在として描くパンフレットや印刷物が収録されています。

一方で、これらの文書群は疑いの対象から逃れた人々にも光を当てています。すなわち、社会的エリートや「賢者（カニング・フォーク）」、さらには「正当な魔術」を実践した医療従事者などです。実際、本コレクションには錬金術文書、占星暦、薬草書なども多数含まれています。19 世紀から 20 世紀初頭にかけては、魔術・神秘主義・魔女研究が広く学術的関心を集めるようになり、これらの主題に魅了された研究者や秘教的結社に関わる人々による文献も豊富に収録されています。

学際的な視点を基盤とし、時代的にも資料的にも広範な範囲をカバーする本コレクションは、人類学、文学研究、哲学、社会学、宗教学、女性学など多様な分野の学生・教育者・研究者にとって有用です。また、思想史や科学史、さらには社会史・文化史・政治史といった歴史学の諸分野に携わる研究者にとっても、大きな関心を引き内容となっています。

大学・学術機関向け価格

FTE (学生数+教職員数)	3,000～4,999	5,000～9,999	10,000～19,999	20,000～29,999	30,001 以上
買い切り価格	価格は弊社までお問い合わせください				

※大学・学術機関向け IP 接続・同時アクセス無制限でのご利用となります。

※Archive 買い切りの年間管理費 (Annual Hosting Fee) は不要です。

※正式な見積価格は最寄りの弊社営業員に別途ご用命ください。

トライアルも承ります!! 詳細お問い合わせは弊社まで

日本総代理店 **極東書店**

FAR EASTERN BOOKSELLERS
KYOKUTO SHOTEN LTD

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル
〒600-8357 京都市下京区柿本町 579 五条堀川ビル
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-3-14 小榎ビル

03(3265)7531 FAX (3556)3761
075(353)2093 FAX (353)2096
092(751)6956 FAX (741)0821

URL: <https://www.kyokuto-bk.co.jp>

E-mail: info@kyokuto-bk.co.jp





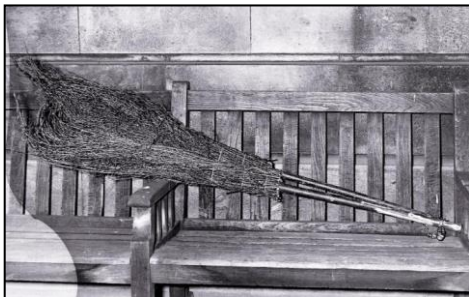
16世紀から17世紀にかけて、魔女に対する信念はイングランド社会の隅々にまで浸透していました。魔術が初めて死刑に値する犯罪と見なされたのは、ヘンリー8世の治世下、1542年に制定された魔女法によってです。この法律は1547年に一度廃止されますが、1562年の新法によって復活しました。さらにジェームズ1世のもとで1604年に制定された法は、迫害を一層強化しました。彼のキリスト教信仰および悪魔学への関心を反映し、この法は魔術の定義を拡大し、墓荒らしの儀式や隠された財宝を見つけるための魔法の使用を禁じました。また、裁判の管轄は教会裁判所から世俗のコモン・ロー裁判所へと移されました。1736年の魔女法はそれまでの法を廃止する一方で、魔力を持つと主張する者に対して罰金や拘禁を科しました。この1736年法は、魔術の実在に対する信念から懐疑へと移行する、イギリス法の転換点となりました。19世紀には、立法は詐欺的行為の取り締まりへと重点を移し、1824年の浮浪者法によって占星術、占い、心靈主義が犯罪とされました。

魔術はイングランド社会に恐怖をもたらし、その多くは宗教的教えによって煽られていました。1560年から1700年の間に、少なくとも513人が魔術の罪で裁判にかけられています。最後の処刑は1685年、最後の記録された裁判は1717年のレスターで行われました。女性は「より弱い性」であり悪魔の力に屈しやすいとするキリスト教的観念から、しばしば告発の対象となりましたが、男性もまた告発されました。告発は多くの場合、邪悪な儀式や「マレフィキウム」(害悪をもたらす魔術)に集中しており、悪霊の召喚や有害な呪文の行使などが含まれていました。しかし、こうした魔女告発は、隣人への不信や不作の原因を理解しようとする試みといった、より日常的な生活の側面を明らかにする手がかりともなります。最終的に、魔女史は超自然そのものよりも、近世イングランドにおける日常生活の実態をより多く照らし出していると言えます。



本コレクションは、錬金術、占星術、占い、薬草学、呪術といった実践を広く扱っています。中世の文書において魔術への言及は、しばしば魔女告発や医療的助言、あるいは民間伝承の記録の中に現れます。時代が下るにつれて、魔術は研究対象として扱われるようになりました。錬金術や治療儀礼のような実践の一部は、化学や現代医学といった科学的手法の先駆の形態とみなすこともできます。本コレクションは、魔術と自然哲学の発展を検討する上でも重要な基盤を提供します。

19世紀になると、魔術、神秘主義、魔女研究は広範な学術的関心を集める分野となりました。本コレクションには、この知的潮流の中で生み出された文献が多数収録されています。たとえば、ヨーゼフ・エンネモーザーの『魔術の歴史』(1854年)、エドワード・ヘロン＝アレンの『手相学入門』(1886年)、H・スタンリー・レッドグローヴの『過去の信念——思索の傍流への探訪』(1920年)、そしてウィリアム・ウィン・ウェストコットによる『カバラ研究入門』(1926年)などが含まれます。ウェストコットは秘教結社「黄金の夜明け団」の共同創設者であり、この団体には著名なアイルランドの詩人 W・B・イェイツも参加していました。また、タロットカード「ライダー＝ウェイト版」の共同制作者であり、同じく黄金の夜明け団の一員であったアーサー・エドワード・ウェイトの著作も収録されています。



本コレクションには、多様な筆記様式による文書が含まれています。その多くは近世英語で書かれていますが、一部にはラテン語や「セクレタリー・ハンド」と呼ばれる書体も見られます。セクレタリー・ハンドは 15 世紀から 17 世紀にかけてイングランドで用いられた草書体で、筆記速度の向上を目的として発展しました。現在では見慣れない字形や廃れたアングロ・サクソン文字、不統一な綴り、多用される略記などを特徴としています。

■収録資料について

1. British Library(大英図書館)

大英図書館から収録された資料には、14 世紀にさかのぼる稀少な手稿資料が含まれます。医師・収集家・植物学者であったハンス・スローン卿のコレクションや、政治家オックスフォード伯ロバート・ハーレーの収集資料(スローン写本、ハーレー写本)に由来する資料も含まれています。これらには、占星術、錬金術、天文学、自然哲学に関する論文や小冊子が含まれます。また、神秘科学、魔術、神学に関する印刷物のほか、占星暦(例: 718.g.54.)や薬草書(例: C.71.d.22.)も収録されています。



さらに、16 世紀半ば以降の魔女告発(例: G.19147.(3)), 裁判(例: C.27.a.2.), さらにには有罪判決や処刑に関する大衆向けバラッド、パンフレット、小冊子が 50 点以上含まれています。加えて、主に 17 世紀に作成された資料として、超自然的な訪問、憑依(例: E.367.(4.)), 亡霊の出現(例: G.13201.), 呪詛、毒殺に関する記録も収録されています。

2. The National Archives(英国国立公文書館)

英国国立公文書館の資料の大部分は、魔術の法的側面およびその影響に関するものです。特に、16 世紀半ばにおける魔術の犯罪化と、それに続くイングリッシュ法制度の下での魔女と見なされた人々への迫害に関する資料が中心です。19 世紀の資料には、占いや心霊主義といった「違反行為」によって浮浪罪で有罪となった人物に関するものも含まれています。

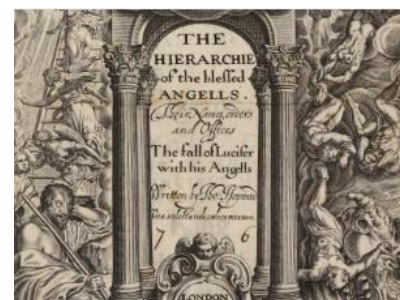


本コレクションには、同館の36の資料シリーズが収録されています。海軍委員会記録は 1675 年以降(ADM 106)、巡回裁判記録は 1564 年から 1684 年(ASSI 16, ASSI 35, ASSI 44, ASSI 45)、衡平法裁判所記録は 1407 年から 1617 年(C 1, C 2, C 3, C 65)を対象としています。財務府記録は 14 世紀および 15 世紀(E 163)にさかのぼり、王座裁判所の記録は 1440 年以降(KB 27, KB 9)に始まります。ロンドン警視庁記録は 1910 年以降(MEPO 2)、特別コレクション記録は 1426 年以降(SC 8)です。

また、国務文書は 1581 年から 1758 年(SP 9, SP 12, SP 14, SP 16, SP 18, SP 29, SP 35, SP 36, SP 46, SP 52, SP 116)を対象としています。星室庁記録は 1509 年から 1624 年(STAC, STAC 5, STAC 8)、著作権局記録は 1895 年以降(COPY 1)、内務省記録は 1799 年から 1931 年(HO 17, HO 18, HO 45, HO 47, HO 144)を対象としています。枢密院記録は 1634 年以降(PC 2)です。また、第 1 代シャフツベリー伯の日記(1645~1660 年)や、ウィリアム・リリーによる占星暦(1671 年刊、PRO 30/24)も収録されています。

3. University College London Special Collections(ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン特別コレクション)

同機関からの資料には、稀少な宗教文書や、錬金術、占星術、天文学、数学、自然哲学に関する手稿が含まれます。例えば、14 世紀にさかのぼる『世界球体論(De Sphaera Mundi)』などの写本(MS LAT/15)は、修道士であり天文学者・数学者でもあった Johannes de Sacrobosco によるものです。また、『手相術と惑星の性質(Chyromantia et Natura Planetarum)』と題された写本も収録されており、これは 15 世紀または 16 世紀のものと考えられ、手相術に関する論文とともに 21 点の彩色図(手や象徴図)が含まれています。



さらに、19 世紀から 20 世紀にかけての関連文献(例: OGDEN CAR ESS)や、魔術・魔法に関する人類学的研究(例: STORE 15-1005/9)、さらには「黄金の夜明け団」のメンバーによる著作(例: HEBREW RARE)も収録されています。

4. The Folklore Society(フォークロア協会)

1878年に設立されたフォークロア協会は、あらゆる形態の民俗文化の研究を目的とする団体です。同協会のアーカイブおよび図書館から収録された資料には、イングランドの民間習俗、ウィッカの伝統、魔女および魔女裁判に関する文献が含まれています。

これらの資料には、迷信や超自然を扱った著作も含まれています。たとえば、1748年刊のサミュエル・ヴェレンフェルス『自然現象における迷信についての論考』(FLS L 11 WER)や、ジョン・ゴール『魔女・幽霊・ハイランドの予言者の歴史』(FLS L 10 HIS、1800年頃刊)などがあります。また、19世紀に至るまで魔術の実践がイングランド社会に広く浸透していたことを示す資料として、ジェームズ・マレル(1785年頃-1860年)の庭から発見された未刊行ノート(FLS/2/ADD/5)も収録されています。彼は「賢者マレル」あるいは「エセックスの魔術師」として知られ、人間や動物の治療、悪霊の祓いに魔術を用いたと伝えられています。このノートには、占星術、召喚術、地占術に関する記述があり、惑星に対応する印章や精霊、象徴が示されています。



さらに、同協会の資料には、19世紀後半のイングランドにおける魔術実践に関連する道具類を記録した写真シリーズ(FLS/1/7/2)や、魔術からの防護のため建物内に隠された物品の写真も含まれています。また、1960年代の資料(FLS/1/7/10)には、迷信や魔術をめぐる比較的新しい学術的・社会的議論が記録されています。

■注目資料ハイライト

Court Records from the Assizes

この資料は、北イングランドの巡回裁判所記録に含まれる1673年の供述書です。14歳の召使の少女アン・アームストロングが、地元的女性たちに対して行った一連の告発が記されています。彼女は、ノーサンバーランド州ティンデルの人里離れた場所で夜間に開かれる魔女の集会(サバト)において、「マレフィキウム」(害をもたらす魔術)の行為を目撃したと主張しました。アームストロングによれば、これらの女性たちは空を飛び、姿を変え、悪魔と踊っていたとされています。

Discovery of a Witch

17世紀のイングランドでは、魔女事件に関する印刷物が急増し、恐怖と迷信が広く流布しました。本パンフレットは、イングランド内戦期の1643年に出版されたもので、議会派の兵士に銃撃された際、ある魔女とされた女性が「弾丸を手で受け止め、それを噛み砕いた」と記しています。扉絵には、ニューベリー近郊の川で板の上に浮かぶ女性と、二羽のカラスが描かれています。このような記述は、魔女の力や社会に対する脅威への信念を強めるとともに、女性がとりわけ悪魔の影響を受けやすいとする観念を補強しました。

Rare Manuscripts

本コレクションには、中世および近世初期の手稿が多数収録されています。この写本は、ハンス・スローン卿のコレクションに由来するもので、16世紀または17世紀に作成された影響力のある錬金術文書です。太陽と月、四元素、さらには鳥、竜、蛙、蛇といった動物を通じて錬金術的変成を象徴的に描いた67点の図版を含み、錬金術の過程についての詳細な解説が随所に記されています。

Astrological Almanacs

この占星暦は、1598年のためにThomas Buckmynsterが作成したもので、占星学的知見を伴う天文暦から成ります。各星座が人体の特定の部位に対応すると考えられていたため、読者に対して年間の医療的助言を提供する役割を果たしていました。また、各月や季節の天候、月食などを予測する年次予報も付されています。



British Online Archives の詳細お問い合わせは弊社まで



日本総代理店 **極 東 書 店**

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル

TEL: 03-3265-7531 FAX: 03-3556-3761 <https://www.kyokuto-bk.co.jp> E-mail: info@kyokuto-bk.co.jp